

久保埜さんお疲れさまでした！ これからも仲間としてがんばろう！

久保埜さん退職激励会開催



関西地区分会は2月22日、新大阪駅近くの居酒屋で2月末で退職された久保埜雅行さんの退職激励会を開催しました。

退職激励会は、関西地区分会以外から久保埜さんとゆかりのある多くの方々に集まっていただきました。

総勢で34名の仲間が、久保埜さんの退職に対してこの間の労をねぎらい、そしてこれからも仲間として共に頑張ることを確認しました。

久保埜さんは、1974年国鉄に入社し新幹線運転士として東京駅～博多駅間を乗務し、J R 東海発足後も運転士や車掌として乗務しました。病気により京都駅営業二科に転勤となり、その後に新大阪駅営業二科に転勤となりました。

久保埜さんは、大阪第二運輸所で運転士や車掌として乗務している時に、会社による不当なボーナスカットを繰り返し受けました。その結果、久保埜さんは専任社員Vという差別的処遇を受けることになりました。

専任社員Vというのは、久保埜さんの場合では、賃金では約3万円減額となり、役付き手当の支給がなくなり、通常65才まで働けるところ久保埜さんは年金（特別支給の老齢厚生年金）が支給される62才で退職しなければなりません。

久保埜さんは会社による不当なボーナスカットにより専任社員Vとなりましたが、会社の攻撃に屈せず62才まで頑張る決意で専任社員になりました。しかし、故郷で独り暮らしをされているお父さんの介護をするために、この度61才で退職することになりました。

久保埜さん！会社による攻撃に対するこれまでの奮闘に敬意を表します。お疲れさまでした！これからもいつまでも仲間として共に頑張りましょう！

